

平成22年度第4回理事会議事概要

日 時： 平成22年7月30日（金） 16:00～16:40

場 所： 森林総合研究所 特別会議室

出席者：	理事長	鈴木 和 夫
	理事（企画・総務担当）	福 田 隆 政
	理事（研究担当）	大河内 勇
	理事（育種事業・森林バイオ担当）	平 野 秀 樹
	理事（業務承継円滑化・適正化担当）	町 田 治 之
	理事（森林業務担当）	山 口 正 三
	監事	林 良 興
	監事	龍 久仁人
	監事	滑志田 隆
	総括審議役	志 田 孝 一
	審議役	富 永 茂
	企画部長	平 川 泰 彦
	総務部長	安 樂 勝 彦

1．開会

2．報告

本日は、議案がなく報告が2件となっている。

(1 - 1) 第 3 9 回農林水産省独立行政法人評価委員会林野分科会概要報告について
(平川企画部長) < 資料 1 - 1 を説明 >

6 月 2 3 日に林野分科会が開かれた。資料を開きますと 1 枚 2 枚、時間割等に続いて評価単位自己評価シートがある。総括票の自己評価のところでは私どもの評価としては温暖化予測のところだけを S で提出しているところ。

それから 8 月 4 日 (水) にワーキングチームの会合がありまして、午前中に森林農地整備センター、午後は育種センターと丸一日となる。最終的な説明資料を作成しているところであるが、先生方から非常に細かい資料を出してくれるよう言われている。来週月曜日中には資料を送付する段取りでいる。

(福田理事)

前回の理事会との関連で林業科学技術振興所との関係のことだが、特定の関連の法人ということではいろいろと努力しているにもかかわらず、当該の法人の全体の収入が急減したために私どもとの契約割合が増えてしまったことを説明した。その後、当該法人と話し合いを行い、23 年度は解消出来るように取り組みを進めている。

(鈴木理事長)

本件の報告については理事会として了承された。

本件の資料については、林野庁の公表状況を確認した後に公開するものとする。

(2 - 1) 平成 2 2 年度研究評議会の開催について

(平川企画部長) < 資料 2 - 1 を説明 >

11 月半ばに毎年研究所会議及び研究評議会を開催する。日程は例年 3 日間でやっている。今年度については 2 日間の開催で可能かもしれないということだが、理事長の予定を考慮し、一番都合の良い日の 11 月 10 日から 12 日の間で行う予定にした。半ばの週になると研究機関連絡会等に重なり、日程上幾つか問題点があるということで少し早めることにした。

今回の研究評議会だが、資料の委員名簿で委員 10 名のうち新任の方が 6 名、再任の方が 4 名で開かせていただきたいと考えている。ここで承認を得られたら研究評価科で評議員の先生方のご都合を伺い、その 3 日間の内で最も良い日を選びたいと考えている。

(福田理事)

一寸早いような感じがするが、皆さんお忙しい方が多く早めに日程調整を行わないと欠席される方が増えてしまうので、このように進めたい。

(鈴木理事長)

新任の方のコメントを一言。

池田先生は千葉県農林総合研究センターの所長、当て職の新任である。全国林業試験研究機関協議会の会長をされている。

(福田理事)

石井先生は農林水産省の前に記者クラブにいらっしやいまして今は編集委員になっておられる。そういう関係もあり昔から農林水産関係の解説をされており、今は地方紙にご本人が書かれたものが出ている。その他、水土里ネットとかシンポジウムでもメインのコーディネータをされており識見のある方である。

(鈴木理事長)

大垣先生については、私ども関連の独法である建築研究所或いは国立環境研究所、農業環境技術研究所等から評議会委員をお願いしており、それまでは建築研究所からお願いしていた。先生は国立環境研究所理事長だが、日本学術会議の副会長を務めておられるので色々なご意見を頂くのに良いだろう。どちらかという国立環境研究所は我々の競争相手だが、そういうことは言わずに願います。

(福田理事)

金井先生は植林ボランティアで日本で一番幅広く活動されているNPO法人地球緑化センターの事務局次長で、実質的にまわしている方である。最近では都会の若い男女を地方に一定期間派遣して地域の元気を取り戻すための色々な活動をするところまでをされており、単なる植樹だけではなくて地域興しまで係わっているので色々なアドバイスをいただけると思う。

(鈴木理事長)

進士先生は前の農大で現在は農大の名誉教授だが、早稲田大学の客員教授等をされている。日本学術会議の会員で役職はないが、(社)大日本農会の副会長をされているので、役職を書くとしたらそういう役職を書かれたら良いと思う。元々、造園が専門の先生だが、非常に上手に発信されている技術を私たちも身につけるべきではないかと思う。力強いコメントを頂けると思う。

(福田理事)

西村先生は国産材の一般製材の分野で品質管理の優れた新工場を造り、三重県の地域の代表的な国産材製材工場として、また、同時に国産材製材協会の専務理事になられている。国産材分野の振興観点で識見が高い。

銘建工業(株)さんは元々スタートがホワイトウツドのところからナンバーワン企業になったので、国産材の(株)西村木材店さんと双璧となり、それぞれの意見が頂けると思う。

(鈴木理事長)

本件の報告については理事会として了承された。

次回の平成22年度第5回理事会は、9月3日(金)開催予定となった。

3 . 閉会